

編集後記

2022年8月現在、新型コロナウイルス感染症の流行は収まる気配が見えず、多くの方が仕事や生活に様々な影響を受けていると想像します。幸いなことに、当財団の業務の多くはリモートワークで行うことが可能なため、大きな混乱なく進められています。本誌RISTNEWS No.68も例年通りのスケジュールで発行される運びとなりました。東海事務所から「1F廃炉に向けた放射線源の逆推定及び線源対策に係る

デジタル技術の研究開発」、東京事務所から「分子シミュレーションによるダイラタント現象へのアプローチ」、神戸センターから「ネオジム永久磁石のアモルファス粒界相及び主相副相界面における磁気結合の第一原理計算による解析」を寄稿頂きました。当財団の各事業所の業務の一端を紹介しておりますので、是非、ご一読下さい。ご興味を持たれるものがあれば、忌憚ないご意見をお寄せ下さい。 (編集長)